

水産物のトレーサビリティを考える～うまく生かしてリスクの軽減を～

〔概要〕

食品の安全安心対策として、トレーサビリティ・システムの導入が進んでいるが、ロットが小さく流通時間が短い水産物での導入は遅れている。水産物の安全性を脅かすリスクとしては、短期リスクと長期リスクがあり、トレーサビリティ・システムはこのうち短期リスクの軽減に有効である。他社に先駆けて導入すればこれをブランドとして利用でき（クレディブル・コミットメント）、事故原因の絞り込みも容易になる（外部不経済の内部化）。